

一五九

▽尾崎行雄氏

停車場 米國將校一名兵二十六名▲打靶
國將校六名兵二百四名▲山海關四砲臺 日吉

得て所謂ねいはゆる
得て所謂とくしゆかし
得て所謂とくしゆかし

二十日初回を龍仁郡に於て行ひた
が入札の結果特等一石八十六圓七

各方面に於て著々覺醒し從來の
分子を一掃して新たに健全なる

に候。○
漢輔氏を始めて、三人の此
年

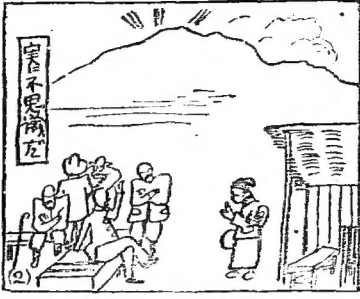
通信員中津君は、當地に終十
住せらる由なるが、君の談に
此の

去り、夫餘（フヨ）へ向ふべく候。驛場（イキバ）に枝蛙（エドガ）ある古城（コウジヤウ）を辭し申候、夕陽（ユフヤウ）

其庭に群れしとや
除る晝寝の厨かな
崖城

(休刊日大型) 休刊無中年)

東原の人達は領いて、
『本宮に不思議な金の塊だ。山のこ
つべんに張りついて、あのどか／＼
光るところを降めた時は、欲しくつ



「おかしな奴。なぜ欲しくはなかつたのだらう。をかしいな。」と云つて、金の塊には手を觸れようとはしないで、ずん／＼から下つてしまひます。なぜさうやるか、それはどうしても分りませう。たゞ金の塊に近づきさへすれば、彼も何にもなくつてしまふといふのは、ほんとに不思議な事（話）は、その事を聞いた東京の人達が五十六人連れで、そんな町鹿（トウカ）らしいところがあつて居るものと云つて、わざわざその山に登つて行つたこともあつたが、直きに山から下つてきりましたので、山の麓に住んでゐる人達が、

站

清瀬川
二月
八日

「あんなに寒い中、お前を連れしめな」と言ふ
つた理想が、現実生活にいつつかうと



如左

於て半導体列會を開催する由なるが、價格
抑賣値段約四割引の安價にて提供する結

5

渚の砂

る

本誌一（二三）は二十三日新の中から先頃

あ

壯丁の似痔

中々
農

て待後マツゴの如ごとく要ヨウむ給たまはふ官くわんを欺あやしかうとして

物通の
外は

小池佐久(三四)は兄と財産を横領すべ

元村長の惨劇 横濱市 藤沢二丁目

に

短刀を携へて陷入し保に重傷保の妻さ

の

来生活動から保に扶助方を申込んで登つたので其の怒り晴しなしたのだと自首し

— 11 —

遠の姫まつに二七は父が寛母を離縁し
妹を繼母として引入れたのを恨んで数瓦

— 厚氏也。

いに依り見附出された際父の亂打がすか

註
 下

不忠議の薛 穂尾隠棲聖君位時八幡
收發した春鹵一石三斗の中に中央に直

行

一、

ひ

日には先づ鹽五六合と水八
とを釜でよく煮立たし一

入
ね

まず、^{味のつよさを}味は新しく^{つよさを}持てる^{まろやかさを}所も古いの

入れ
など


たりすると味が太厚はつよりなれます又新世しんせいで味噌みその早造りはやぞうりをするには初め古い運うん

の
處

に願をふつて願ひ罷でます初めの内は願

家思の

に手入をしないと薬味しくはなりません
 抽味噌の味で主軸の型質を知る事が出来



月経丸
月経不調を快く通じ
月経不順を快く調へ
月経困難を快く治す
月経の滞を通じ、月経不順、痛、氣逆、逆上等を長治す。
又、赤白帶下、血を清くし、月経異常、子宮冷を治す。
藥二週分、五分、一週五拾錢、二週拾錢、三週拾錢、四拾錢、本館、贈丹、年商會、藥房。


店員 西村正一
右者中回解雇致候に付、兩今弊商會に一切關係無之候間、此段廣告仕候也。
大正六年七月一日
京城南大馬道二丁目
西村商會

花柳病専門
電話 三〇六五番
開通
京城南大馬道通農工銀行裏
司生堂醫院

開業御披露
拜啓。昨今、左記の所、段々大勢、致し極め、熱心に御用命相伺ひ申すべく候に付、何分御引立を賜り、度、先は開業披露申上候。敬具
京城本町五丁目廿六番地
友枝マキ
電話 六四〇番

腕巻時計
貴金屬製品
ルメヤ双眼鏡
右各種品揃
京坂本町二丁目
平井時計舗
電話 三六二番
販賣 電話 三六二番

年金
長恩時 五ヶ年
額 大正 大正
京都商品陳列館前之坂 漆屋代 漆屋代
鑛床地質調査
鑛區選定
鑛山學士俱樂部
釜山鑛業所
釜山幸町二丁目
(電話 二五七番)

天下一品

增本酒店
目丁三町本川七番九〇一話電

新田帶草
白神洋行
白神洋行支店
京都南大馬道
白神洋行支店
新田式耐水調辛
朝銀橋代理店
本町四丁目
星達第次込申儀定

釜山商店案内
貨雜外内
屋問卸
目丁二町本山釜
近江屋支店
番二〇八話電
番七三一城京皆振

食料 罐詰 卸
洋酒 問屋
糖粉 問屋
煙草 屋
町天辨山釜
あまづあ
番五五三長話電
番九三城京皆振

内外雜貨 卸
鍋釜金物
ナクラビル
藤近
目丁三町本山釜
番六八七長話電

電話開通三〇五一番
 京 城 古 市 町
 印刷インキ製造販賣 芹川商店

帝國醫科大
 學卓効證明
 内外國博覽
 會賞牌受領

猿印
 月虎印
 のみどり粉

南京虫蚤虱全滅保証
 油虫蟻蚊等

滅蚊線香

上山 靜藏 鑒製

製造所 紀州有田郡山田原
 販賣所 大阪府慶町三丁目

電話開通三〇六八番
 所齒科醫院

北醫看護婦人川高等小學校卒業程度 京城旭町三丁目八一府廳裏通

はいざい
 配劑の妙

適確なる効は藥劑の巧妙なる配合に因つて顯るハカリ印のヘブリン丸は其配劑の優れたる寔に理想以上なり諸大家は之を賞讃せり力ぜは勿論總て熱病に罹れたる場合には速かにハカリ印のヘブリン丸を服用して熱を解き全快せらるべし

純良の藥品も賣藥が揃つて居ます
 三ツ化粧品代理店ですか
 京城本町三丁目角
 古城賛化堂

第百九十三席 田邊南龍口演

を始、新家の役人が御持遇をいふ
して居る、木匠三次は宅兵衛に對し
三宅さん、宅何だ、此の伊勢
へ来て古市のお勢當頭といふもの
見なければ誰しにやらね、何う
す貴下から親主を勧めて今夜古市
跡を見に行、ちやアございません
宅「イヤ跡を見るには女郎屋へ行
ねばならん左様な處へ行くのを勧
ては相成らん、三「宜いではござい
せんか、お若い身でらで「晚
い込んで男氣に無い、女郎屋へ行
たつて女を買さへしなければ宜
宅「成程、買はなければ宜い、跡
見るがには差支へないのだな」と
七郎「此の事を話しました

外科一般 皮膚病科
泌尿器科 花柳病科
本院 安部修三
京城水築町二丁目光教會隣

安部醫院

[illegible]

電話七五八番

[illegible][illegible]

名古屋市南かじや附 武蔵龜士

[illegible]



朝鮮の教科書(二)

編輯長 小田省吾
二 高等普通學校及同
程度教科用圖書(共)

朝鮮の教科書は、朝鮮半島の教育に於ける重要な役割を担っている。その内容は、朝鮮の歴史、地理、文化、言語など、朝鮮人の生活と密接に関連している。また、日本の統治政策を反映した内容も多く見られる。教科書の編纂には、日本の教育制度と朝鮮の实际情况を考慮し、適切な教材を選定している。このように、朝鮮の教科書は、朝鮮人の教育と日本の統治政策の両方を反映している重要な文書である。

支那商工業の遷移

今 天 彭

支那の商工業は、近年急速な発展を遂げている。特に、上海、北京、天津などの大都市では、商業と工業が盛んに行われている。また、地方でも、農業と手工業が盛んに行われている。このように、支那の商工業は、全体的に向上している。これは、支那の経済の発展を示している。今後も、支那の商工業は、さらなる発展を遂げることが期待される。

衆議院

第九回特別帝國議會

彈劾討論(前)

衆議院の第九回特別帝國議會は、弾劾討論が行われている。これは、政府の政策に対する議員からの批判を反映している。議員たちは、政府の行動に対して厳しく監視を続けている。このように、衆議院は、政府の行動を監視する重要な役割を担っている。今後も、衆議院は、政府の行動を厳しく監視し、国民の利益を守ることに努めることが期待される。

日一月七 (頁八七五合と刊タ)

最新刊
田中丸病院
院長 田中丸 治平
副院長 田中丸 和夫
電話 八八五番

朝鮮の政治情勢は、近年急速に変化している。特に、日本の統治政策に対する朝鮮人の反発が顕著になっている。これは、朝鮮人の民族意識の高まりを示している。また、日本の経済政策も、朝鮮人の生活に影響を与えている。このように、朝鮮の政治情勢は、非常に複雑である。今後も、朝鮮の政治情勢は、さらなる変化を遂げる可能性がある。

半襟陳列即賣會

壹萬掛限り特に卸賣値段にて提供
京都半襟卸問屋 寺田 卸店
臨時京城出張所

七月三日(三日間)
午前九時より午後七時まで

朝鮮滿洲旅行案内

汽車 汽船

雨多

雨が多いため、外出の際は傘を忘れずに。また、濡れた衣服は乾かすようにしましょう。

ABC

英語研究 第四巻

大阪屋敷

大阪屋敷の魅力を堪能してください。

英語研究

英語研究の最新情報をお届けします。

田中丸病院

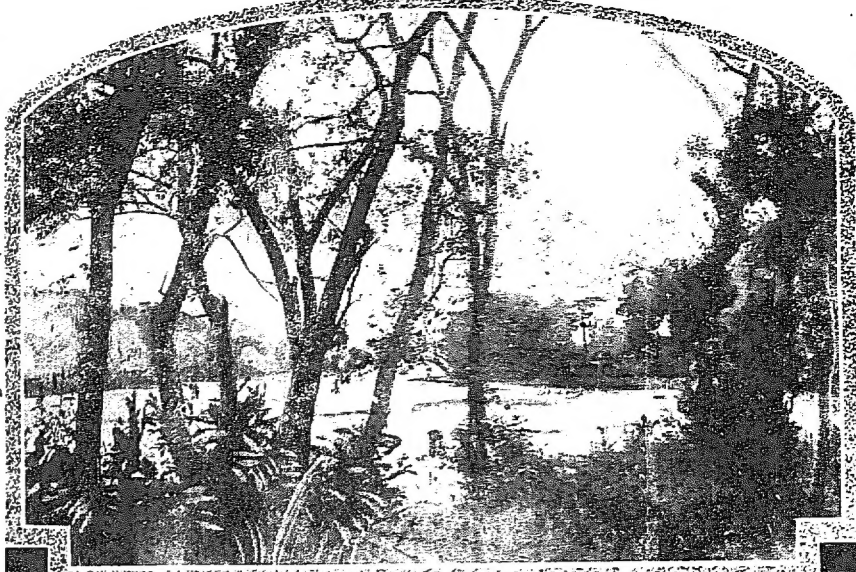
院長 田中丸 治平

京日案内

京都と東京の行き方を案内します。

京日案内

京都と東京の行き方を案内します。



●其の美景、其の感慨

〇〇〇 白馬江上、百濟の古都扶餘を訪ふて〇〇〇

扶餘の地、一草一木何が歴史を
にざるものぞ。足一たび踏山に入
れば荒涼たる青草の間一面蛇の破
片の散らばりたるを見るべし此そ
はけに三國時代の花にして一百五十
年の榮枯を極めたる百濟の王城酒
波のかたみにて候へ

五趾野蠻部族に昔著 法書 園 星

「是處の地」なる
に「新羅王城の廢墟を履
めて哭かんとすれば可なりと云ふ
こと」は婦人に達しまでは行
なすべし婦人に達してなす所を知
こも無量と云ふは此の事なるべく
威徳無量とは此の事なるべくと
の意を諷刺しを顧みれば彼は何ん
の志にやにやりと笑ふは何ん

候。此處はなにおし殿、彼處はさ
 かし宮、恐らく彼の平坦なる處。
 宮人等が羣騎の馬ならん取止む
 なき想像に此れは今は現在を去
 遠く千二百年前に潮り酒洲城中の
 華を眼のあたり見る心地な候。
 朱欄を望み、
 赫々蒼々たる、
 白雲江上に林立せるは江南天空の
 船。されどあゝ眼を開くれば其は
 地の如にて眼前に横れるは此の五

● 萬葉の王位をいふ歌、
百花の御榮榮花を化し主なる
此の時に常りひとす當時の榮事當時
の悲慘を語るものとてはげに此の瓦
の破片のみにて候。太后太后を伴ひ
て夜半熊鷹に蒙塵し玉ふ義孝王の怨
恨、榮華の夢醒もやらに黒龍に暗
き送月暗の月の下落花巖上に花を散
りて酒泚水中泡と消へしに嬌麗花を
の瓦の破片にて候。小生は
あゝ無常なる人華にして無情なる
は江山なるかな、古奥き春語なかな
は江山なるべからず。此の江山の古
は只文雅なる百濟人あるのみと云
ふに百濟人なし、江山詠か
爲るに年時を記る

東大相權

三日目
 秋山大將の來觀
 數時會員の總見
 ▲一日の三日目は日曜であつて土
 間には學生が頗る多く何處を見ても
 人で一杯で全く爪も立たね入つ午前
 中に大入客止めの靴が出た
 の客で思はば開殿きになつて頭から
 ボロボロ汚氣を立ててゐるのを数分
 席から注意された人さへあつた
 ▲本社の寄付き五人抜きは幕下の
 血氣揃ひが雲集して互ひに火花を散
 らして戰つたかゝり、結局席の隅東京
 から著いたばかりの元氣者火打洋が
 美事に抜いて終つた

▲校勘には幸理兵衛長近村から頼
續された歿命會の總見があつて中人
續され、大兵の若鷲と大相撲を取つ
て首尾よく勝つた時にはワアツとい
ふ小騒ぎ

▲歩く事さへ出来ない程ギョシリ
詰まつた校勘の何が仇やら判らない
中に紺青廣に經るさうなバナナ朝を
戴いた秋山軍司令官が白諾標榜の野
津副官と共に肩をバチつかせてゐた
のが眼を惹いた

好みは前日の取組みに預かりとなつ
てゐる相模だけに觀客も非常の興味
を以て迎へられたが土州山の勝となつた

值賀浦 小松瀧 浪花山
太刀ヶ峰 三國山 岩ノ口百太郎
若木虎 櫻井嶽 軍馬殿
太刀ヶ鶴 泉 狼谷嶽 相の浦
太刀ヶ若無友 鴉 金の鐘
太刀海 栗山 若鷲 小の鐘
室戸崎 遠州洋和合浦 鈴小島
越洋 龍ヶ瀬 筑後川 太刀老
友渡り 八幡友 太刀風 曾根松

▲入 後

農民解散

獨逸を極めたる東邊道鳳城

一昨狼狽を極めたる東邊道風地熊能
 主廟一帶に於ける農民の暴動は馬鈴
 芋作以下多數の軍を出動鎮撫に努め
 置けり内市外大に面生れの様風鋭

◇大相撲 スケツチ 三三目

○矢野山 苦島

三日版組

高女生徒の同

盟休校めいきゅうがう

根根縣立濱田高等女學校寄宿生全部
は寄宿舎監督教員との間に軋轢を生
じ同盟休校を爲し各々郷里に歸れり
(大國特電)

白晝強盜捕はる

外一名と共に、庖丁及び擬銃を携へて本年一月七日白晝京城茶

南質は李源泰方に侵入し源泰を擄

遊廓で大立廻り 平景居



の男に關係したる結果四月十五日

1

せらる

●京龍庭球手輩單
△第一回戦は来る八月

[illegible]

瀬川 紅葉川 敷島 若
 勢の濱 黒瀬川 太刀山 土州
 の内 ▲四國洋に荒玉は立上るや

つゝ一氣と寄んでする制那四

[illegible]

の勝は太陽菜なり若島に敵艦は立上
 敷の二本菜となり鋭く密るを若外
 げに防ぎ　二三四吊りをせり合ひ
 士漢の中央に仁王立ちとなり互ひ
 隙を窺が内敵勝手なり　左舷手
 抜き有四ツとなり一氣によれば若
 俣を廻つて水打り入後若蒼手
 抜き下接手を打ちたらず手を突
 て負!伊勢の濱に黒瀬川に立上
 る黒瀬左差にて下接手を打ちしに
 残しつつ上りて勝!太刀山に土
 山は立ち上り土州飛鳥の如く飛び
 ひみ足取りに行くと太刀押へつ右
 を取つて突き放せば土州土俵外に

寫眞出版張影
 京城日報製版部

[illegible]

[illegible]